

平成 30 年度 園芸作物生産転換促進事業(全国推進事業)
えだまめ現地検討会開催要領(新潟県下)

1 趣 旨:

加工・業務用野菜の主要品目においては生産拡大を図るため、機械化一貫体系が進められているが、えだまめにおいても近年需要が高まり、生産規模の拡大や効率化が求められている。現在、自動収穫機の大規模から小規模まで販売が開始されており、実用化に向けて大きく動き出している。

えだまめの機械収穫機を普及させ、加工・業務用えだまめの生産・流通を図るため、一大産地化を目指す新潟県上越市管内において農機メーカー、研究・指導機関、生産者、実需者等の幅広い参集のもと、えだまめの機械収穫実演会及びセミナーを開催する。

2 日 時:平成 30 年8月 31 日(金) 12:30 ~ 16:45

3 場 所:(1)えだまめ生産ほ場における機械収穫から袋詰めの一貫した作業現場の視察
新潟県上越市管内 JAえちご上越 園芸集出荷場
(2)セミナー:上越文化会館(えちごトキめき鉄道春日山駅より徒歩2分)
新潟県上越市新光町 1-9-10 TEL:025-525-4103

4 主催者:野菜流通カット協議会(補助事業の実施主体)

5 協 賛:JA全農新潟県本部、(一社)日本施設園芸協会、青果物選果予冷施設協議会

6 参集範囲:概ね 100 名

- ① 北陸地区加工・業務用野菜関係者(農業生産法人等生産者、JA関係者、研究・行政関係者、農業機械関係者等)
- ② 加工・業務用野菜取扱い中間事業者・実需者等
- ③ 野菜流通カット協議会、青果物選果予冷施設協議会の会員等
- ④ 農林水産省(含む、北陸農政局)
- ⑤ その他(全国の加工・業務用野菜関係者、JA関係者、研究・行政関係者 等)

7 集合場所及び集合時刻:

- ① 上越文化会館 市民サロン(セミナー会場 えちごトキめき鉄道春日山駅より徒歩2分) に
12:20迄に集合 (新潟県上越市新光町 1-9-10)
(12:30出発 借上げバス移動で、圃場まで約15分)
- ② えちごトキめき鉄道 直江津駅の南口バスロータリーに12:10迄に集合
(12:20出発 借上げバス移動で、上越文化会館経由圃場まで約25分)
- ③ 北陸新幹線 上越妙高駅の西口バスロータリーに12:10迄に集合
(12:20出発 借上げバス移動で、圃場まで約25分)

8 開催内容とスケジュール(以下、時間はおおよその目安)

(収穫時期の変更に伴い、開催内容を一部変更する場合があります。)

(雨天の場合、開催内容を一部変更する場合があります。)

12:50 挨拶、スケジュール説明等

13:00 ~ 14:30 えだまめの機械収穫から袋詰め作業現場視察.....(90分)

《移動》

15:00 ~ 16:45 セミナー

①話題提供(試験研究機関).....(20分)

農研機構 中央農業研究センター

北陸研究拠点 北陸作物栽培グループ長 細野 達夫 氏

②話題提供(産地関係者).....(20分)

えちご上越農業協同組合 営農部 園芸畜産課長 小関 勇一 氏

③話題提供(生産者 兼 実需者).....(20分)

農業生産法人 有限会社 四位農園 代表取締役会長 四位 廣文 氏

④話題提供(農業機械メーカー).....(15分)

株式会社 ミツワ 営業課 課長 小川 真輝 氏

⑤質疑応答.....(30分)

司会進行 農研機構 野菜花き研究部門 野菜生産システム研究領域長

(生産技術検討委員会委員長) 岡田 邦彦 氏

「えだまめ現地検討会」

〔平成30年8月31日（金）開催〕

参加申込書

※お申込期限 8月17日（金）

（一社）日本施設園芸協会内
野菜流通カット協議会 事務局 行き
FAX：03-3667-1632

参加申込

機関名 【
】

*生産者の方は、“生産者”とお書きください。

TEL番号 【
】

FAX番号 【
】

※申込受付後、「参加受付証」をFAXにてご返信いたします。

参加者

申込者 申込者が参加の場合は下記にも ご記入ください。	部署名	役職名	集合場所			携帯番号
			文化会館	直江津駅	上越妙高駅	
参加者氏名	部署名	役職名	文化会館	直江津駅	上越妙高駅	携帯番号

※緊急の連絡用として携帯電話のご記入をお願いいたします。

※ご応募が定員100名になり次第募集を締め切らせて頂きますのでご了承下さい。